

## 令和元年度学校評価アンケート集計結果と学校評価について

## 目的)

学校関係者評価を行うにあたり、内部評価(教員・生徒)に対するアンケート調査を行い、分析することで次年度の学校運営の参考にする。

## 調査方法および分析方法)

調査は全校生徒(178人)を対象に、独自のアンケートを作成し、行った。アンケート結果は、個別に集計し統計処理を行った。

## 結果)

- ・今年度は前年度を上回る結果となり、満足度は評価の高かった平成27年度の水準に回復した。(表1、表2)。6項目において学年間に統計的な差が見られ、1年生の評価が特に高かった。この傾向は昨年度と同様である。
- ・CS分析の結果より、学年やコースごとに共通する傾向が見られにくかったが、人間関係が重要度、満足度ともに高い数値を示した。保健、授業はそれに次ぐ重要度の高い項目であった(図1～6)。
- ・満足度の年度間の比較では、現3年生2年生共に数値が上昇した(表3、表4)。
- ・自由記述欄、北照高校の良いところを記載内容毎に分類した結果、学校生活、部活、なし、教員の順で数が多かった。同じく悪いところは、施設、なし、生徒指導の順で数が多かった。
- ・教職員の自己評価は昨年度より上昇した。

## 自己評価)

※評価についてはAを最高として、A～Eの5段階評価で行った。

項目	評価	総評
学校運営	A	HR指導や教科指導を中心に生徒一人ひとりを大切にしていく方針は、生徒から継続した評価を得た。さらに、満足度の数値がさらに上昇したことは評価できる。さらに、昨年度と同様、満足度に影響を与える要因が多様化していることが読み取れるが、これについてもある一定の対応ができてしていると判断し、評価を上昇させた。
生活指導	B	生徒のアンケートや教職員の自己評価から、生徒間の良好な人間関係や教員が生徒から信頼を得ることができている。平成30年度に課題とされた授業規律の面も昨年度を通じて改善された。一方で、ソーシャルメディアの利用の仕方やその中での生徒間トラブルが増えており、インターネットリテラシーの指導が今後の課題である。
進路指導	A	令和元年度の卒業生も、担任を中心として、進路指導部とも連携しながら、円滑な進路指導を行うことができたことから、希望者ほぼ全員が進路決定をして卒業することができた。ただ、一部生徒に、進路に対する意欲が著しく低い、面接で自己表現ができないなど指導の難し

		<p>い者がいた。このような生徒へも早めに対応することやミスマッチなどによる早期離職や進学先における進路変更等を減らす指導計画を練っていくことが今後の課題である。キャリア教育により力を入れることで、適切な進路を見つけ、進路先で活躍できるような力を育成することを目標に指導を行っていききたい。</p>
教科指導	C	<p>授業中の生徒指導案件があったことから昨年度、最も評価を低くした項目であった。令和元年度は授業規律に関する集会やHRを行った事、授業を受ける意義を生徒に考えさせる機会を設けたこと、生徒と教員の双方が授業の評価を行える機会を設けたこと等、改善に関する様々な取り組みを行った。その結果、授業に関する生徒指導案件はなくなり、自己の能力に合わせた指導を受けることができたと感じている生徒が増加した。今年度は上記の取り組みを継続させることに加えて、カリキュラムの作成や基礎学力診断テストの導入等により、授業の成果を数値として把握できるようにすること等、より充実した授業を行うことができるよう努めたい。</p>
特別活動 ・ 課外活動 指導	A	<p>学校行事には、生徒が主体的に取り組む事ができるような指導を行い、実現することができた。加えて、部活動においてもスポーツコースを中心として充実した活動を行った。野球部やスキー部は全国大会に出場し、サッカー部も全道大会で活躍した。また、普通コースの吹奏楽部も全校応援や様々なフェスティバルに出場するなど活発に活動をした。</p> <p>令和2年度ももこの傾向を維持できるように、行事内容の一層の充実や、指導方法の向上に継続的に務めていきたい。</p>
総合評価	B	<p>昨年度の課題であった、教科指導と生活指導の部分には重点的な取り組みを行うことで、一定の成果を挙げることができた。また、学年・教科・分掌で情報を共有することにも力を入れて、一人の生徒を様々な角度から支える体制を整えることが可能となっている。令和元年度には、様々な問題に組織として対応できる場面が増えたため、評価を上昇させた。</p> <p>令和2年度も生徒一人ひとりを大切に教育について、本校の特色である人間関係や特別活動・課外活動を大切にしながらそれだけに満足することなく、生徒の持つ力を発見し、それを伸ばしていけるような指導に発展させていく努力をしていきたい。</p>